

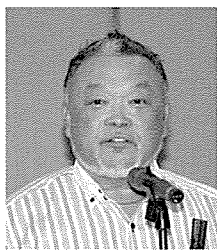
名古屋支部

夏季納涼親睦会開催

名古屋支部（新美三良支部長）は7月28日（金）午後6時30分、サッポロビール名古屋ビール園浩養園（名古屋市千種区）にて、支部の恒例事業となった夏季納涼親睦会を開催しました。

会場の浩養園はサッポロビール直営のビアホールですが、ビール工場が移転したのを機に大々的に改築され、従来の屋外スペースの他に大中の室内スペースも設けられ、年配の方から若い世代の方にも人気の高いスポットです。

参加者は会員各社から93名という多くの方が集まり、初めて顔を合す方々は名刺交換や挨拶があちこちで行われていました。



開会挨拶をする
新美支部長

新美支部長は挨拶で「今年は雨の日が多く天候が気かりでしたが、浩養園の多目的ホール<スターホール>は室内で雨の心配もなく、存分に楽しんでいただけたと思います。本日は暑い中、多数の方にお集まりいただきありがとうございます。2時間ほどの親睦会ですが会社の垣根を越え、相互に交流を深めていた

き楽しんでください。」と述べました。

その後新美支部長の乾杯の発声の後、テーブルに並べられた多くの食材や、季節に合わせた和洋食の彩り豊かなメニューに歓声が上がり、日頃の疲れが癒される会となりました。各テーブルでは今後の仕事の広がりについて、業界の発展について、上司への感謝、部下へのアドバイス等、普段は言いにくい言葉が、リラックスした空間ならではの本音が話された親睦会でした。

会場の浩養園は、名古屋ではビヤガーデンの代名詞といわれ、大正15年に竣工したサッポロビール名古屋工場は昭和6年に接待所を開業、これが「浩養園」の発祥です。浩養園の名前の由来は、文化文政年間（1781～1837）に第11代将軍・家斉公が隅田川畔に浩養園という5,200坪の名園を造ったことに端を発し、明治39年に大日本麦酒（株）が吾妻橋工場の一部として接待用に使用され、その名園に因んで名古屋工場施設も浩養園と名付けられたとされています。（サッポロビール名古屋ビール園浩養園 Web サイト引用）

